

数学

同志社大学 全学部日程 [文系] (2 / 5 実施)

<全体分析>

試験時間	75分	解答問題数	3題
------	-----	-------	----

解答形式

[I] は空所補充式、[II]、[III] は記述式。

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴

[I] (2) は空所補充であるが分量が多く、難易度も高い。

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

特になし

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[I] (1)	整式、微分法	数II	整式の次数を決定し、 $f(x)$ を求める。	標準
	確率	数A	何番目の人が何個目の当たりくじを引くか考える。	やや難
[II] (2)	整数	数A	正の整数の正の約数について、その個数とその総和を考える。	標準
	数列	数B		
[III]	三角関数、 微分法・積分法	数II	放物線と2本の接線で囲まれる部分の面積の最大値を求める。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

典型的な手の付けやすい問題のセットであるが、[I] は分量が多く時間内に解くことが大変である。また、[II] のように、論理的に記述することが必要な場合もあるので、記述式においても得点ができるように解法の説明の仕方を含め、十分な演習を積んでほしい。